

図 V-14 観測所ごと月平均日照時間

# イ) 矢部川

矢部川流域の観測所における日照時間の月別平均値は、筑後川同様に冬に短く夏に向かって長くなる傾向にあるが、梅雨時期の 6 月や台風時期の 9 月に一時的に落ち込む傾向が見られる。

表 V-26 日照時間の観測所ごと月別平均値 (2008 年から 2018 年までの平均値)

単位:時間

	月								平均				
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	十四
黒木	122.8	125.8	172.1	179.0	201.4	108.5	164.0	191.8	155.9	172.3	138.6	122.5	154.6

出典: 気象庁

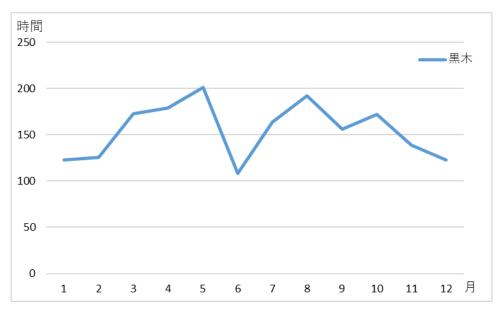


図 V-15 黒木 月平均日照時間

# (6) 湿度の概要

# ア) 筑後川

筑後川流域の 5 観測所のうち、月平均相対湿度が気象庁ホームページで公開されているのは日田観測所のみであり、その観測結果を以下に示す。

平年値(1981 年から 2010 年の 30 年平均値)と比較すると、2008 年~2018 年の相対湿度は概ね平年どおりであった。

表 V-27 月平均相対湿度(日田観測所)

単位:%

年月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
2008	74	66	68	65	63	74	68	72	76	72	77	76
2009	76	74	66	61	60	68	73	69	66	70	75	76
2010	72	70	70	65	63	72	74	67	70	71	72	75
2011	73	70	63	60	68	75	72	72	71	74	75	72
2012	70	73	67	60	67	77	79	74	77	75	78	79
2013	76	73	69	65	62	75	71	73	71	75	75	79
2014	77	78	74	70	64	77	79	85	77	77	82	79
2015	81	75	71	74	70	82	82	79	80	74	85	84
2016	85	78	74	75	70	82	79	74	84	81	84	84
2017	78	74	73	72	68	71	81	78	82	84	82	78
2018	81	76	74	69	72	78	77	70	83	79	82	83
平均	76.6	73.4	69.9	66.9	66.1	75.5	75.9	73.9	76.1	75.6	78.8	78.6
平年値	76	73	71	68	69	74	76	74	76	76	78	78

出典: 気象庁



図 V-16 日田観測所の月平均相対湿度の平均値(2008年~2018年)

# イ) 矢部川

官署(気象台等)のみ値が公開されているため、矢部川流域においてはデータなし。

## 5.2 土地利用データ

## ア) データの入手先

土地利用については、国土交通省の国土数値情報ダウンロードサービス (http://nlftp.mlit.go.jp/ksj/index.html) より、土地利用細分メッシュデータ(100m メッシュ)をダウンロードして用いた。必要な範囲を統合し、ラスター形式で作成した。

名称:土地利用細分メッシュデータ (100mメッシュ) データ時点:2015 (H27) 年 (製品仕様 第 2.5 版) 入手先:国交省 国土数値情報ダウンロードサービス

URL: http://nlftp.mlit.go.jp/ksj/gml/datalist/KsjTmplt-L03-b.html

## イ) 土地利用図(筑後川)

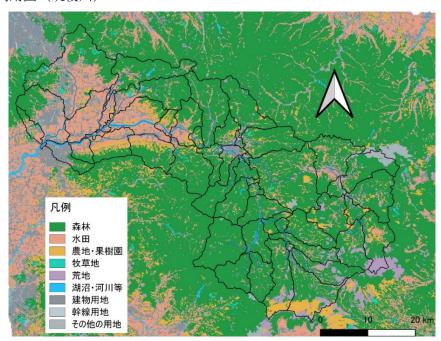


図 V-17 土地利用細分メッシュ (2015 (H27) 年 (製品仕様 第 2.5 版))

	10	V-20 上が介力和重計 ソ =				
LANDUSE_ID	SWAT_CODE	種別	備考			
100	RICE	田				
200	AGRL	その他の農用地				
500	FRST	森林				
600	BSVG	荒れ地				
700	URHD	建物用地				
901	UTRN	道路				
902	UTRN	鉄道				
1000	URHD	その他の用地	競技場、空港、競馬場など			
1100	WATR	河川地および湖沼				
1400	WATR	海浜				
1500	WATR	海水域				
1600	PAST	ゴルフ場				

表 V-28 土地利用種割り当て表

## ウ) 土地利用図(矢部川)

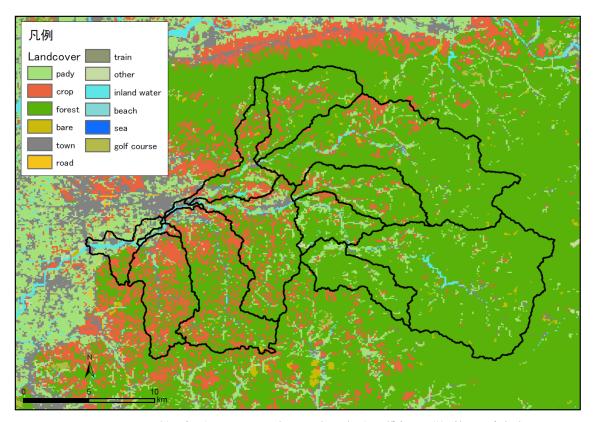


図 V-18 土地利用細分メッシュ (2015 (H27) 年 (製品仕様 第 2.5 版) )

#### 5.3 土壌データ

## ア) データの入手先

土壌図は、国土数値情報ダウンロードサービス (http://nlftp.mlit.go.jp/ksj/index.html) より、20万分の1都道府県土地分類基本調査 (国土交通省)の土壌図をダウンロードして用いた。対象流域内の土壌は、褐色森林土、黒ボク土、グライ土、赤黄色土、褐色低地土、未熟土、灰色低地土、泥炭土の8区分とした。

SWAT の参照データベースには、透水性や土性、有効水分量といった土壌物性に関するパラメータが含まれるが、褐色森林土、黒ボク土のような日本特有の土壌については、それらの情報が存在しない。したがって、これらの土壌については、既往文献を参考に新規にパラメータを構築し、データベースへの情報追加を行った。本事業で新規構築した土壌パラメータの詳細については、別途巻末資料に示す。

## イ) 土壌図(筑後川)